

「医療機関における外国人患者の受入れ体制整備に向けて—緊急医療が必要になった訪日外国人患者にどのように対応していくのか—」

近年、様々なタイプの外国人患者の増加を背景として、医療機関における外国人患者の受入れ体制整備に関する関心が高まっています。平成27年7月に発表された健康・医療戦略でも医療の国際展開が主要項目の1つとして掲げられ、「日本において在留外国人等が安心して医療サービスを受けられるような環境整備の必要性が述べられています。こうした状況を背景として、私ども研究班ではこれまで、医療機関における外国人患者の受け入れ実態調査をはじめとして、数々の関連調査研究を行ってまいりましたが、より多くの皆様とこの問題について考えていきたいと思い、今回のシンポジウムを企画致しました。

当シンポジウムは2部構成になっており、第1部では、外国患者の受け入れ体制整備に向けた国や研究班の取組みについて

ご紹介します。そして第2部では、外国人患者の中でも、訪日外国人の増加や東京オリンピックの開催決定を受けて急速にその対応の必要性が高まってきている「訪日外国人患者の緊急時医療」に焦点を当てて考えていきたいと思えます。具体的には、「訪日外国人患者の緊急時医療」に実際に携わっている医療機関や救急関係者の他、医療アシスタンス会社や旅行会社、電話医療通訳会社等、様々な立場の方からその現状と課題等についてご報告頂きます。そしてその上で、今後、日本において訪日外国人患者の緊急医療に対応していくためには、どのような体制づくりや施策が必要なのかパネルディスカッション形式で検討していきたいと思えます。年末のお忙しい時期ではございますが、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

日 時 ● 2015年12月19日(土)
10:00~16:30(受付開始 9:30)

場 所 ● 聖路加国際大学・講堂(東京都中央区明石町10-1)
東京メトロ 日比谷線築地駅徒歩3分、有楽町線新富町駅徒歩5分

内 容 ● プログラム(裏面)参照

参加費 ● 無料 (情報交換会参加の場合 6,000円)

定 員 ● 300名(先着順)

プログラム

9:30～10:00 受付

10:00～10:10 開会のご挨拶

東京女子医科大学 国際環境・熱帯医学講座 教授・研究代表者 遠藤 弘良

第1部 外国人患者の受入れ体制整備に向けた国及び研究班の取組み紹介

10:10～10:30 「外国人患者の受入れ体制整備に向けた国の取組み」

厚生労働省 医政局総務課 国際医療展開推進室 医療人材専門官 谷村 忠幸

10:30～11:30 「研究班の取組み」

①医療機関における外国人患者の受入れ体制整備に向けた実態調査報告

公益財団法人日本医療機能評価機構 事業推進部長・研究分担者 遠矢 雅史

②「医療機関のための(医療)通訳ガイドライン案」のご紹介

国際医療福祉大学大学院 医療経営管理分野 准教授・研究分担者 岡村 世里奈

11:30～12:30 休憩

第2部 緊急医療が必要になった訪日外国人患者の受入れ体制整備に向けて

12:30～14:50 関係者からの現状報告

①医療機関の立場から

千葉西総合病院 国際医療支援室 室長代理 海老原 功 氏

高山赤十字病院 副院長 竹中 勝信 氏

②救急関係者の立場から

東京消防庁 参事・救急部救急管理課長 森住 敏光 氏

③医療アシスタンス会社の立場から

アクサ・アシスタンス・ジャパン株式会社 営業部シニアマネージャー 田中 嘉平 氏

④電話医療通訳事業者の立場から

株式会社ブリックス 代表取締役社長 吉川 健一 氏

⑤旅行会社の立場から

株式会社JTB総合研究所 常務取締役・観光危機管理研究室長 高松 正人 氏

14:40～15:00 休憩

15:00～16:25 パネルディスカッション

「訪日外国人患者の緊急医療に対応していくために、今後整備していくべききものは？」

コーディネーター: 国際医療福祉大学大学院 岡村世里奈

パネリスト: 上記「関係者報告」登壇者

16:25～16:30 開会のご挨拶

17:00～19:00 情報交換会(銀座キャピタルホテル新館 カトリア)

【お申し込み方法】

東京女子医科大学国際環境・熱帯医学講座のHPからお申込みください。

<http://www.twmu.ac.jp/Basic/int-trop/>

【お問い合わせ先】

本件に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

国際医療福祉大学大学院 医療経営管理分野 岡村 世里奈(okamura@iuhw.ac.jp)